

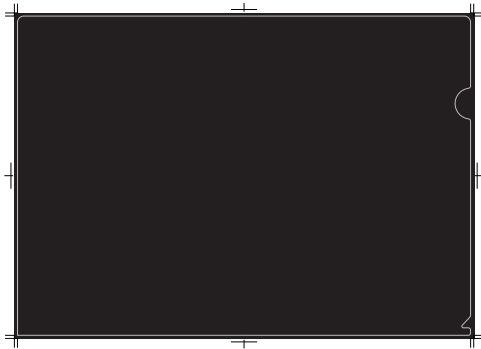
クリアファイルの白版(白引き)の作成手引き

■白版(白引き)とは

- デザインや写真画像、イラストに白色がある(表現させたい)場合
クリアファイル素材色は透明なので、白色をデザインとして使用する場合、白色印刷が必要になります。
- 書類を透けにくくさせたい場合
中に入れる書類を透けにくくしたい場合には白印刷を施します。

■白版作成の様々なパターン

1 全面に白を引くと透けにくくなります



白版展開図

白を全面(表・裏)に印刷することにより中の書類は透けにくくなります。
※白引きした部分は完全に不透明にはなりません。

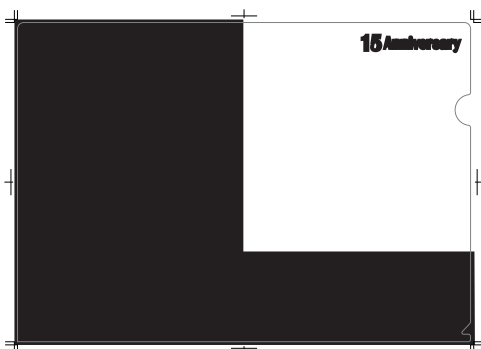
仕上がりイメージ



裏

表

2 白を引かない部分のみ透けます



白版展開図

表面は右上のロゴ部分と下の写真部分に白を印刷し、裏面は全て白を印刷します。白を印刷していない部分は透明になりますので、表面から見て白を印刷していない部分だけ、中の書類が透けます。
※白引きした部分は完全に不透明にはなりません。

仕上がりイメージ



裏

表

3 文字と画像以外は透けます



白版展開図

表面は右上のロゴ部分と下の写真部分に白を印刷し、裏面は文字の部分に白を印刷します。白を印刷していない部分は透明になりますので白を印刷していない部分だけ、中の書類が透けます。
※白引きした部分は完全に不透明にはなりません。

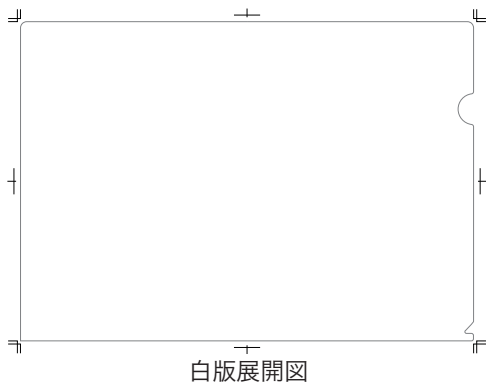
仕上がりイメージ



裏

表

4 全面に白を引かないと全て透けます



白版展開図

全面に白を印刷していないので透明になります。中の書類が全て透けます。

仕上がりイメージ



裏

表

■白版データの作り方 ※白版を作成する際、小さい文字、罫線など細かいデータは印刷できませんのでご了承下さい。

PP 素材であるため印刷時に伸縮が起こります。そのため、プロセスデータの絵柄と同じ大きさで白版を作成されますと、ズレによって白がはみ出てしまいます。白版の絵柄はプロセスデータの絵柄より「-0.1mm」内側に入れて作成してください。

clear file

スミ：パスのオフセット -0.1mm(内側)
ピンク：プロセスの文字

▲絵柄と白版(K100%)を重ねた場合の見え方

clear file

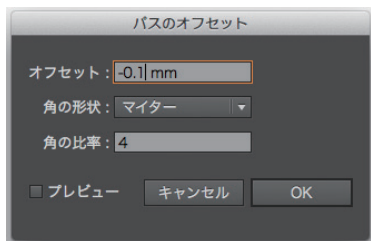
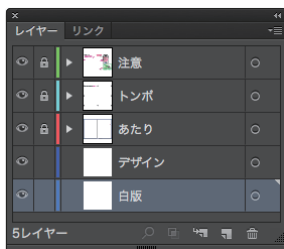
プロセス (CMYK) データ

clear file

白版データ

作成方法

- ・制作された同じイラストレーターファイルの白版レイヤー上にパス(スミK100%)で作成してください。
- ・パスのオフセット幅を実際のデータから内側に0.1mm入れて作成してください。
- ・「元の絵柄コピー」→「白版用レイヤーにペースト」→「オブジェクト」→「パス」→「パスのオフセット【-0.1mm】」→ →元のパスを削除→スミK100%にする

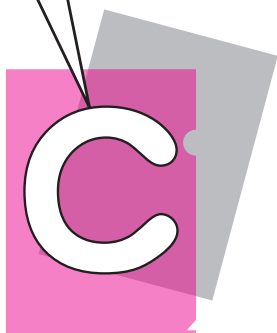


※背景の絵柄・色などの中に白のデザインがあり、
背景を透けさせたい場合※
背景の絵柄、色などと白の間が透明になるのを防止するために
白版の絵柄はプロセスデータの絵柄より「0.1mm」外側に出して
作成してください。

スミ：パスのオフセット 0.1mm(外側)
白：プロセスの文字



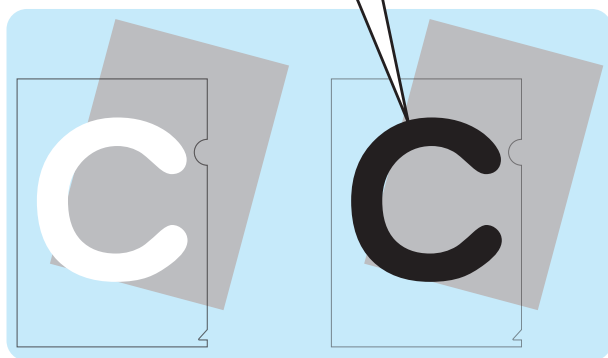
▲仕上がりイメージ



▲絵柄(背景ピンクに白文字)と白版(K100%)を重ねた場合の見え方
白版の方が太くなる

※無色透明のクリアファイルに白のデザインがある場合※
白版で白の絵柄を表現するので、希望のデザインのサイズのまま
作成してください。

スミ：白版レイヤーに希望デザインサイズのまま)



▲仕上がりイメージ

▲白版レイヤーにK100%で希望のデザインサイズのまま作成してください。
デザインレイヤーの方にはデザインが無い状態で結構です。